3 施設区分	別整備基準(推奨事項)	①学校等 ②医	療機 ③児童福祉施設	④福祉施 設	(5) (5) (5) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	阪売店 ⑦観光 飲食施		⑨温浴施 設		⑪博物 館、美術	①事務所 等		⑭共同住 宅	⑤工場等	⑥駐車場	⑪-1公共 用歩廊	
		ISI	征爬改	故	堂(公民 館、貸館 施設を含	跃及师	品文 品文	政	ノ心設	館、図書館	ਚ	10	-			用少邮	1 <del>7</del>  1
全体共通					む)												
路面・床	屋外の路面は、透水性(水を通す性能)のある舗装とする。	0 0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	騒音を防止する素材または仕上げとする。			Ö	Ö	0 0		Ö	Ö	Ö	Ö	0	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	Ö
素材・仕上げ	掃除がしやすい素材または仕上げとする。		0	0	0	0 0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	万が一転倒した場合でも、衝撃の少ない素材とする。		0	0	0	0 0		0	0	O	<u> </u>	0	Ŏ	0	Ŏ	0	0
	床が振動しないように、振動の伝わりにくい構造や素材とする。 各部屋の入口と廊下の色を区別する。		0 0	0	0	0 0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物の色と調和した色合いとする。		5 6	ŏ	ŏ	$\ddot{0}$		Ö	ŏ	ŏ	Ö	0	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ
	視覚障害者誘導用ブロックの敷設を考慮した色合いとする。		0	Ö	0	0 0		Ö	Ö	Ö	Ö	0	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
色	階段では、階段と踊り場を識別しやすいように、各々の床の色を区別する。	0 (	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設が広い場合は、エリアごとに床の色を区別するなど、施設内のどこにいるのか 分かりやすくする。	0 0		0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	温かみがあり、清潔感のある色とする。	0 0	0 0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排水溝ふた	歩行者が通過する部分に設置する場合は、溝心たのピッチは5mm程度とする。			ŏ	Ö	0 0		ŏ	ŏ	Õ	Õ	00	ŏ	ŏ	Ö	Õ	ŏ
視覚障害者誘導用ブ	ロック																
	敷設幅は、30cm以上とする。	(A) (C	) (C	C	0	0 0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0	0
位 置	エレベーター乗り場では、ボタンから30cm程度手前の位置に点状ブロックを敷設	(A)		©	0	0 0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0	0
14 追	する。 エスカレーター乗降口のランディングプレートから30cm程度間隔を空けた位置に																
	点状プロックを敷設するとともに、音声案内なども併せて設置する。	(A)	O   ©	©	0	0 0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0	0
色∙仕様	色は、原則として黄色とする。	(A)	) ©	©	0	0 0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0	0
□ · I±1*	通路と視覚障害者誘導用ブロックの輝度比は、2.0以上とする。		) <u>©</u>	<u>©</u>	0	0 0		0	0	0	0	0	B	<u>B</u>	0	0	0
		※ <a>風は利用者の</a> Bは共用部分	うのみ。				関等の経路に	こついては、	状況に心し	て検討する	こと)。たた	こし、職員等	り 人的文	と援かり 能力	な場合は、	必須としない	١,
エナリ		©は利用者の	り状況を考慮し、	、突起物を記	没けなくても良し	١,											
手すり	手すりが2段の場合は、床から65cm程度と85cm程度の高さに手すりを設置する。	0 0	(A)	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	手すりが1段の場合は、床から80cm程度の高さに手すりを設置する。		) Ä	ŏ	ŏ	$\delta$		Õ	ŏ	Õ	Õ	0	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	
位 置	エレベーターのかご内には、床から75cm程度の高さに手すりを設置する。		0	Ō	0	0 0	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	0	Ö	Ö	Ö	Ö	
	壁からの間隔は、5~6cm程度とする。		0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		<u>※</u> ④は、状況に ○															
				( )	$\circ$	$\cap$	0	$\cap$	$\cap$	$\cap$	0	$\circ$	$\cap$	$\cap$	$\cap$	0	
			0 0	0	0	0 0		0	0	0	0	00	0	0	0	0	
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。	0 (		0	0 0	0 0 0 0	0	0	0	_		000	0	0		0 0 0	
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度と	0 0	0 0	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ö	0	
色·仕様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。	0 0	0 0	0 0	0	0 0 0	0 0	0	0	0 0	0	0	0	0 0	Ö	0 0	
色·仕様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。	0 0		0 0	0 0	0 0 0 0 0 0	0 0	0 0	0 0 0	0 0	0 0 0	0	0 0	0 0	0	0 0	
色・仕様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。	0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0	0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0	0 0 0	0	0 0 0	0 0 0	0	0 0 0	
色・仕様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0	0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0	0 0 0 0	0 0	0 0 0	0	0 0	0 0	0	0 0	
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	000	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0	0 0 0 0	
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0	0 0 0 0 0 0	
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	000000	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。			0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。			0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	000000	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、			0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 明き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。			0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0
	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、ドアクローザー等を設置する。							0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0			000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0
扉・出入口	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 沈濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉が気に閉まらないように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。								0 0 0 0 0 0 0 0 0			000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0
扉・出入口	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、ドアクローザー等を設置する。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0
扉・出入口	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両関きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 関き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、ドアクローザー等を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。 ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0
扉・出入口	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  扉は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、総90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、ドアクローザー等を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。 ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。カラス戸は、割れにくいものとする。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0
扉・出入口	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「東は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が高に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 指つめ防止の配慮をする。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉が反側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。																0 0 0 0 0 0
扉・出入口	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「東は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が高に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 指つめ防止の配慮をする。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様 ドアハンドル	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「重は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 関き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、ドアクローザー等を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 推つめ防止の配慮をする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。 たから80~90cm程度の高さに設置する。 色をつけて分かりやすくする。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 チすりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「東は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両関きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や潜のない上吊り式とする。 関き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 推つめ防止の配慮をする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。 たから80~90cm程度の高さに設置する。 色をつけて分かりやすくする。 セント								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  「房は、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や満のない上吊り式とする。 開き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が急に関まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 推つめ防止の配慮をする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。 床から80~90cm程度の高さに設置する。 色をつけて分かりやすくする。 セント 各種スイッチの位置は、床から100cm程度の高さとする。 コンセントの位置は、床から50~100cm程度の高さとする。																0 0 0 0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  家園には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアは手動式の外開き戸を併設する。 引き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が高に閉まらないように、床の色を変えなど注意を促す。ドアの関き側の壁面に、関き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 指つめ防止の配慮をする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。 床から80~90cm程度の高さに設置する。 色をつけて分かりやすくする。 コンセントの位置は、床から50~100cm程度の高さとする。 コンセントの位置は、床から50~100cm程度の高さとする。																0 0 0 0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスロープの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  家園には、両開きの自動ドアまたは引き戸と設置する。 す常管に備え、自動ドアには手動式の外開き戸を併設する。 引き戸は、敷居や溝のない上吊り式とする。 関き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 関き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、ドアクローザー等を設置する。 関き戸の場合は、扉が急に閉まらないように、床の色を変えるなど注意を促す。ドアの開き側の壁面に、開き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 指つめ防止の配慮をする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。 たから80~90cm程度の高さに設置する。 色をつけて分かりやすくする。 色をつけて分かりやすくする。 日動感の高さとする。 コンセントの位置は、床から50~100cm程度の高さとする。 別大きな押しやすいスイッチとする。								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0 0 0 0
扉・出入口 仕 様 ドアハンドル	直径4cm程度(小児用は3cm程度)の太さの手すりを設置する。 階段やスローブの水平部分の手すりの長さは、45cm以上とする。 エスカレーター乗降口の水平部分の移動手すりの長さは、くし板から70cm程度とする。 エスカレーター乗降誘導の固定手すりの長さは、100cm以上とする。 手すりの端部は衣服の引っかかりを防止するため、下または壁側に折り曲げる。 色をつけて分かりやすくする。 温かみのある素材とする。 水濡れや凍結の影響を受けない素材とする。  家園には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアまたは引き戸とする。 玄関には、両開きの自動ドアまたは引き戸を設置する。 非常時に備え、自動ドアは手動式の外開き戸を併設する。 引き戸の場合は、扉の反対側が分かるように、床から60cm程度の位置を下端に、縦90cm程度、横20cm程度のガラス窓を設置する。 開き戸の場合は、扉が高に閉まらないように、床の色を変えなど注意を促す。ドアの関き側の壁面に、関き側から45cm以上のスペースを設ける。 ガラス戸の場合は、扉があることを認識させるため、床から100~120cm程度と140~160cm程度の位置に、だれもが見やすい色や模様等の目印を貼り付ける。ガラス戸は、割れにくいものとする。 指つめ防止の配慮をする。 使用用途(会議室や事務室等)ごとに、扉の色を区別する。 床から80~90cm程度の高さに設置する。 色をつけて分かりやすくする。 コンセントの位置は、床から50~100cm程度の高さとする。 コンセントの位置は、床から50~100cm程度の高さとする。																0 0 0 0 0 0 0 0

(6) 光環境

|光源が直接見えない照明器具とする。 |日射等でまぶしくならないように、庇やブラインドを設置する。

8 施設区分別	引整備基準(推奨事項)																			
	加走佣坐牛(班关事场)	①学校等 ②					⑥販売店 舗	5 ⑦観光、 飲食施設		图 ⑨温浴加設	も ⑪スポ− ツ施設	一 ①博物館、美術		近 ③公衆ト イレ	(4)共同位 宅	15工場等	6 16 駐車場	①-1公共 用歩廊	①-2バス ① 停 #	
			•			堂(公民館、貸館	HIII	202	u.~	HA.	7 75 15	館、図書館						713 2 12		_
						施設を含む)														
(7) 備 品																				
	休憩用の椅子を設置する。 移動しやすい椅子を設置する。	0	0	0	00	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
椅 子	高さ調節することができる椅子を設置する。	Ö	Ö	Ö	0	0	Ö	Ö	Ö	0	Ŏ	Ö	0			Ö				0
	幼児用の椅子を設置する。 和室には、座椅子を設置する。		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
	下部に高さ70cm程度、奥行き45cm程度のスペースを設けて、足が入るようにす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
テーブル・机	る。 子どもが利用できるように、踏み台等を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
	低い位置に設置する電話台の高さは、75cm程度とし、下部に高さ70cm程度、奥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0		0
公衆電話	行き45cm程度のスペースを設けて、足が入るようにする。 荷物置き、杖立て、メモを取るスペース等を設ける。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0		0
公水电站	間が過さ、秋立く、メモを取るスペース等を設ける。 電話ダイヤルやブッシュボタンの中心位置は、床から90~100cm程度の高さとす																			
	る。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0		0
自動販売機	硬貨投入口に広い受け皿のある自動販売機を設置する。 金銭の返却や商品が出てきたことを音声等で知らせる機能の自動販売機を設置す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
	財布や取り出した商品等が乗せられる小さな台を設置する。	Ö	Ŏ	0	0	Ö	Ŏ	0	0	0	Ŏ	Ö	0			Ŏ	Ö	Ö	Ö	0
ゴミ箱	捨てるゴミの種類が分かるように、サインを大きな文字で表示する。 主な通路等にゴミ箱を設置する。	0	0	0	00	00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00	0
- 1 1 TH	分かりやすい色のゴミ箱を設置する。	Ö	ŏ	0	0	00	ŏ	ŏ	ŏ	Ö	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	Ö	Ö	00	0
ラック	子どもや車いす利用者が利用できる高さのラックを設置する。	0	0	0	00	00	0	0	0	0	0	0	0			0				0
	踏み台を設置する。   高さは、床から70~80cm程度とする。	0	0	0	00	00	0	0	0	0	0	0	0			0				0
水飲み器	下部に高さ70cm程度、奥行き45cm程度のスペースを設けて、足が入るようにす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
<i>b.</i> = →=	る。 部屋の広さに合った換気扇や空調を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				0
換気扇·空調 ————————————————————————————————————	騒音が出ない換気扇や空調を設置する。	Ŏ	Ŏ	Ö	Ö	Ö	ŏ	Ŏ	Ŏ	Ŏ	Ŏ	Ŏ	Ŏ	Ŏ	0	Ŏ	0	0	0	Ŏ
6-2 移 動 空 間 1 施 設 ま で(交通手段/原	引边道路)																			
(2) 周辺道路		_	$\overline{}$			0													0	
車道	施設周辺の車道の幅員を十分確保する。   歩道と車道の境界の段差は2cmとするが、段差がなく、歩道と車道の境界が分かる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
歩 道	構造が望ましい。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	歩道の構造は、フラット方式またはセミフラット方式とする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
2 施 設 敷 地 内(駐車場/																				
(1) 共通事項(駐車場/屋																				
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝	<b>外通路</b> ) 排水能力の高い排水溝を整備する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
(1) 共通事項(駐車場/屋	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。	0 0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		0 0	0 0	0 0			0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場   駐車スペース	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。    夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0 0	0 0	0	0 0		0 0	0 0	0 0			0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場	外通路)     排水能力の高い排水溝を整備する。     駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。     樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場 共通事項 単車スペース 案 内 動線・誘導	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、	0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0	0 0	0 0 0 0	0 0 0		0 0 0	0 0 0	0 0 0			0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場 共通事項 駐車スペース 共通事項 案 内 動線・誘導	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。  駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。  樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。    夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。   広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。   満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。   幸駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、   全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。	0 0	0 0	0 0	00	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		0 0	0 0	0 0			0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場 駐車スペース 共通事項 転車スペース 繁 内 動線・誘導	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。  駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。  樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。  広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。  満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。  全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、 文全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0000000	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0		0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0			0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案 内 環 境 (2) 駐車場 駐車スペース 案 内 動線・誘導 駐車台数	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。  駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。  樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。  広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、 文全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 奥行きは、600cm以上とする。	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0		0 0 0 0	0 0 0	0 0 0			0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内環境 (2) 駐車場 共通事項 駐車スペース 案内 動線・誘導 駐車場 駐車場	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、 文 全駐車台数が200台と超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 乗降スペースは、90cm以上とする。 乗作スペースは、90cm以上とする。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。 一 夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 本駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 「幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 東行きは、600cm以上とする。 東作スペースは、90cm以上とする。 東斉さ、600cm以上とする。 東斉スペースは、140cm以上とする。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋排水溝 案 内環境 (2) 駐車場 駐車スペース 東 中 乗車場 を	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。  駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。  広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。  奥行きは、600cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 東摩スペースは、140cm以上とする。 駐車スペースは、140cm以上とする。	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000		0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋排水溝 案内環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案内 動線・誘導 駐車場 駐車場 駐車 スペース 駐車 場 駐車場 駐車場 ロード	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。  駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。  を駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、 全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。  奥行きは、600cm以上とする。  乗降スペースは、90cm以上とする。  乗降スペースは、140cm以上とする。  乗降スペースは、140cm以上とする。  乗降スペースは、140cm以上とする。	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋排水溝 案 内環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案 内動線・誘導 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 駐車 スペース 屋根 駐輪場	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。  駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。  広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。  奥行きは、600cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 東摩スペースは、140cm以上とする。 駐車スペースは、140cm以上とする。	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000		0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋排水溝 案 内環境 (2) 駐車場	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 満車に数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。  東行きは、600cm以上とする。 東路スペースは、90cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。  重車スペースから玄関まで屋根を設置する。  屋根を設置する。 自転車用駐車ラックを設置する。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 共通事項 駐車場 駐車場 駐車場 降害者等用 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 取ったり 駐車 を 取ったり 駐車場 駐車場 日本のである。 日本のでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 満車に数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。  幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。  東行きは、600cm以上とする。 東路スペースは、90cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。  重車スペースから玄関まで屋根を設置する。  屋根を設置する。 自転車用駐車ラックを設置する。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案内 動線・誘導 駐車場 駐車場 駐車よ (3) 屋外通路 幅員 3 施 設 内(玄関/通路(廊	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。													Ö					Ö	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 共通事項 駐車場 駐車場 駐車場 除主車場 除主車場 除主車場 除主車場 取ったり 駐車場 除主車場 除主車場 取ったり 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  極間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 奥行きは、600cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 「重車の場合は、140cm以上とする。 「国転車用駐車ラックを設置する。 「日転車用駐車ラックを設置する。 「日転車用駐車ラックを設置する。 「日転車用駐車ラックを設置する。 「日転車用財車ラックを設置する。 「日転車用財車ラックを設置する。 「日転車用財車ラックを設置する。 「日転車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを設置する。」 「日本車用財車フックを開きていて、150cm以上とする。」 「日本車工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案内 動線・誘導 駐車場 駐車場 駐車場 駐車よ (3) 屋外通路 幅員 3 施 設内(玄関/通路(廊) (1) 玄関	が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				000000000000000000000000000000000000000									0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 共通事項 駐車場 駐車場 駐車場 除主車場 除主車場 除主車場 除主車場 取ったり 駐車場 除主車場 除主車場 取ったり 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	外通路)  排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  核間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。  全駐車台数が200台と下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、文金駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 東斉さは、600cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 屋根を設置する。自転車用駐車ラックを設置する。 日転車用駐車ラックを設置する。 利用者の多い施設は、すべてを120cm以上とする。 原の前後には、150cm×150cm以上の水平なスペースを設ける(開き戸の開く側は、200cm×200cm以上)。 雨や雪が吹き込まない大きな屋根を設置する。 乗降スペースを確保する。 「乗降スペースを確保する。」 「大きない大きな屋根を設置する。 「大きないたきな屋根を設置する。 「大きないたきな屋根を設置する。」 「大きないたきないたきな屋根を記述する。」 「大きないたきないたきな屋根を記述する。」 「大きないたきないたきな屋根を記述する。」 「大きないたきないたきないたきないたきないたきないたきないたきないたきな屋根を記述する。」 「大きないたきないたきないたきないためにないためにないためにないためにないためにないためにないためにないために													0 0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 陸害者等用 駐車場 駐軸場 駐軸場 (3) 屋外通路 幅員 3 施 設 内 (玄関/通路 (廊 (1) 玄 関	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  徳間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、 全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数以上とし、 全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 瞬員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 奥行きは、600cm以上とする。 東路スペースは、90cm以上とする。 東路スペースは、90cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。 東華スペースは、140cm以上とする。 「最重な設置する。 自転車用駐車ラックを設置する。 利用者の多い施設は、180cm以上とする。 「中国中間車ラックを設置する。 「利用者の多い施設は、すべてを120cm以上とする。 「東路スペースを設置する。 「東京の前後には、150cm×150cm以上の水平なスペースを設ける(関き戸の開く側は、200cm×200cm以上)。 「東で雪が吹き込まない大きな屋根を設置する。 東路スペースを確保する。 「東路スペースを確保する。													0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案(内) 転車場 駐車スペース 繁駐車場 駐車よの 駐車 会 駐車場 駐車スペース 屋 根 ロスペース 屋 根 目 ロスペース 屋 根 目 ロスペース 屋 根 目 ロスペース 屋 根 目 ロスペース 屋 相 目 ロスペース 目 中 面	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、 文全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 東行きは、600cm以上とする。。 東降スペースは、90cm以上とする。 奥行きは、600cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。 野車スペースは、140cm以上とする。  東暦スペースは、140cm以上とする。 「動車用駐車ラックを設置する。 日転車用駐車ラックを設置する。  利用者の多い施設は、180cm以上とする。  示)/スローブ)  90cm以上とする。 利用者の多い施設は、180cm以上とする。 原の前後には、150cm×150cm以上の水平なスペースを設ける(開き戸の開く側は、200cm×200cm以上)。 東路スペースを確保する。 端部をしっかり固定する。 、端部をしっかり固定する。 、端部をしっかり固定する。 、成水性の良い玄関マットを設置する。 を関これてきない大きな屋根を設置する。 大路ない大きな屋根を設置する。 大路ない大きな屋根を設置する。 大路ない大きな屋根を設置する。 大路ない大きな屋根を設置する。 大路ない大きな屋根を設置する。 大路ない外に玄関の位置を知らせる案内板を設置する。 玄関に開館時間を表示する。													0 0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 共通事項 駐車場 駐車場 駐車場 陸害者等用 駐車場 駐輪場 (3) 屋外通路 (3) 屋外通路 (1) 玄関 幅員 電寄せ 玄関マット	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 に長さ、300cm以上とする(乗降スペース込)。 奥行きは、600cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 東を設置する。 自転車用駐車ラックを設置する。  利用者の多い施設は、180cm以上とする。  「東の前後には、150cm×150cm以上とする。 原の前後には、150cm×150cm以上とする。 東の前後には、150cm×150cm以上の水平なスペースを設ける(開き戸の開く側は、200cm×200cm以上)。 南や雪が吹き込まない大きな屋根を設置する。 東路スペースを確保する。 端部をしっかり固定する。 吸水性の良い玄関マットを設置する。 施設内外に玄関の位置を知らせる案内板を設置する。 五、京の前後に玄関の位置を知らせる案内板を設置する。 五、京の前後に玄関の位置を知らせる案内板を設置する。 五、京の中さのインターホンを設置する。													0 0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 陸害者等用 駐車場 駐軸場 駐軸場 (3) 屋外通路 幅員 3 施 設 内 (玄関/通路 (廊 (1) 玄 関	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。  夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台と超える場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、2全駐車台数が200台と超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 奥行きは、600cm以上とする。 東路スペースは、90cm以上とする。 東時スペースは、140cm以上とする。 東路スペースは、140cm以上とする。 重社を設置する。 自転車用駐車ラックを設置する。  利用者の多い施設は、180cm以上とする。 「中国が吹き込まない大きな屋根を設置する。 東路スペースを確保する。 「東路スペースを確保する。 「東路スペースを確保する。」 「東路スペースを設置する。」 「東路スペースを設置する。」 「東路スペースを設置する。」 「東路スペースを設置する。」 「東路、日本の大き設置する。」 「東路、日本の大き設置する。」 「東路、日本の大き設置する。」 「東路、日本の大き記では、日													0 0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋 排水溝 案内 環境 (2) 駐車場 駐車場 駐車場 駐車場 陸害者等用 駐車場 駐軸場 駐軸場 (3) 屋外通路 幅員 3 施 設 内 (玄関/通路 (廊 (1) 玄 関	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。    夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。   広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。   本原でも数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。   福員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。   東降スペースは、90cm以上とする。   乗降スペースは、90cm以上とする。   乗降スペースは、90cm以上とする。   東降スペースは、140cm以上とする。   東摩スペースは、140cm以上とする。   東摩スペースは、140cm以上とする。   東摩スペースは、140cm以上とする。   東摩スペースは、140cm以上とする。   東摩スペースは、140cm以上とする。   東摩スペースは、10cm以上とする。   東摩スペースは、10cm以上とする。   東摩スペースな、10cm以上とする。   東摩スペースから玄関まで屋根を設置する。   自転車用駐車ラックを設置する。   南町市が吹き込まない大きな屋根を設置する。   東藤スペースを確保する。   瀬の美の形に支援でよりたまな屋根を設置する。   東藤スペースを確保する。   瀬の美の大きな屋根を設置する。   東藤スペースを確保する。   瀬の大きな屋根を設置する。   東藤スペースを確保する。   瀬の大きな屋根を設置する。   東藤スペースを確保する。   瀬の大きな屋根を設置する。   東藤スペースを確保する。   東藤スペースを確保する。   瀬の大きな屋を設置する。   東藤スペースを設ける関内が良き知らせる案内板を設置する。   東藤スペースを設ける表する。   東藤大の大きな屋である。   東藤文の大きな屋である。   東藤文の大きな屋である。   東藤文の大きな屋である。   東藤全の大きなどを設置する。													0 0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋排水溝 案 内 環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案 内 動線・誘導 駐車よペース 東車 場 駐車場 駐車場 日本	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、口陰づくりと景観に配慮する。  を間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。 広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。 満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。 全駐車台数が200台以下の場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、文全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。 幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。 契行きは、600cm以上とする。 乗降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、90cm以上とする。 東降スペースは、140cm以上とする。 重量スペースは、140cm以上とする。 「基理スペースが、90cm以上とする。 「東西の一部では、150cm以上の地上とする。 「国土を設置する。 日転車用駐車ラックを設置する。 「国土を設置する。 「国土を可含。「国土を設置する。 「国土を設置する。 「利用者数を考慮して、ベビーカー(新生児用も考慮)や車いすを設置する。													0 0					0	
(1) 共通事項(駐車場/屋排水溝 案 内 環境 (2) 駐車場 駐車スペース 案 内 動線・誘導 駐車よペース 東車 場 駐車場 駐車場 日本	外通路) 排水能力の高い排水溝を整備する。 駐車場内や敷地入口に施設配置図を設置する。 樹木を植栽し、日陰づくりと景観に配慮する。    夜間でも駐車しやすいように、反射板を設置する。   広い駐車場には、駐車した位置が分かるように看板等を設置する。   満車になるケースを想定し、満車マーク等を用意する。   全駐車台数が200台と取る。場合は、全駐車台数に1/50を乗じて得た数以上とし、2 全駐車台数が200台を超える場合は、全駐車台数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上とする。   幅員は、300cm以上とする(乗降スペース込)。   東路スペースは、90cm以上とする。   乗路スペースは、90cm以上とする。   乗路スペースは、90cm以上とする。   東路スペースは、140cm以上とする。   東路スペースは、140cm以上とする。   直転車の形態設は、すべてを120cm以上とする。   自転車用駐車ラックを設置する。   利用者の多い施設は、180cm以上とする。   和用者の多い施設は、180cm以上とする。   京の前後には、150cm×150cm以上の水平なスペースを設ける(関き戸の開く側は、200cm×200cm以上)。   雨や雪が吹き込まない大きな屋根を設置する。   乗路スペースを確保する。   瀬路をしっかり固定する。   城部をしっかり固定する。   城部をしっかり固定する。   城路をしっかり固定する。   城路をしっかり固定する。   城路をしっかり固定する。   大きさの楽立を設置する。   大きさの米立を設置する。   大きないてきる率立を設置する。   大きないてきる率立を設置する。   大きないてきる率立を設置する。   大きないてきる率立を設置する。   大きないてきる率立を設置する。													0 0					0	

8 施設区分	別整備基準(推奨事項)	①学校等	②医療機 関	③児童福 祉施設		場、公会	⑥販売店 舗	⑦観光、 飲食施設		⑨温浴施 設		館、美術	⑫事務所 等	<ul><li>③公衆ト</li><li>イレ</li></ul>	(4)共同住 宅	⑤工場等	⑥駐車場		①-2バス ①-3その 亭 他
						堂(公民 館、貸館 施設を含む)						館、図書館							
(2) 通路(廊下)	10円 サがない サールマは、100、 トルト・ナフ						_							ı					
幅 員	利用者が多い施設では、180cm以上とする。 通路の途中に180cm以上のスペースを設ける。	0	0	0	0	0	0	0	00	0	0	0	00		0	00	0	0	0
壁・柱の角	壁やだりの角は隅切りするか、曲面とする。 曲がり角の先が見える工夫をする(コーナーミラーや壁に窓を設置する等)。 面取りを行わない場合は、角に保護材を設置する。 保護材は、壁の色と異なる色にするとともに、樹脂やラバー製とする。	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0000	0 0	0000	0 0	0 0	0 0	0000		0 0	0000	0 0	0 0	0 0 0
壁	床から10~35cm程度までの壁面は、車いす、ベビーカー、台車等が当たっても傷がつきにくい素材または仕上げとする。 体をこすっても安全な素材または仕上げとする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0		0	0 0	0	0	0
障害物対策	視覚障害者に配慮し、やむを得す高さ65cm以上の部分に突起物を設ける場合は、 突き出し部分を10cm以下とする。 消火器は、邪魔にならない場所に設置するか、壁埋め込み式とする。	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
吹き抜け	貸出し用車いす、ベビーカー、台車等の収納スペースを確保する。 吹き抜け部分の欄干の隙間から、子どもや物が落下しないようにする。 欄干部分が透明なアクリルやガラスの場合は、衝突防止サイン又はマークを設置する。	0	0	0	0	0	0 0	0	0 0	0	0	0	0 0		0	00 0	0	0 0	0
(3) スロープ	'⊙∨₀									1		1					1		
位 置	遠回りにならないように、目的の場所(出入口)へ直接行けるように設置する。 距離が長くならないように、できるだけ高低差の小さいところに設置する。 階段とスロープは、利用を選択することができるように併設する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	000	0	0 0	0 0 0 0 0 0
形状	利用者の多い施設の幅員は、160cm以上(階段併設の場合は、140cm以上)とする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
4 昇降スペース(階段/エレ (1) 共通事項(階段/エレ 位 置		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ı	0	0	0	0	0
(2) 階段	一時段、エレベーダー、エスカレーダーは、それぞれを担くに設置する。	0						0					0					0	
形 状	蹴上げは、16cm以下とする。 踏面は、30cm以上とする。 幅員は、150cm以上とする。 利用者の多い施設の幅員は、180cm以上とする。 階段の両側は、壁又は手すり壁とすることが望ましいが、手すり子形式の場合は、 5cm以上の立ち上がりを設ける。	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
案 内	階段の手すりが、片方しか設置されていない場合、階段の位置を知らせる案内板に、手すりの設置側を表示する。 3階建て以上の施設は、階段の踊り場に階数を表示する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
(3) エレベーター		Ţ.		<u> </u>											<u> </u>				
設 置 かごの広さ	2階建て以上の施設は、エレベーターを設置する。   すべてのエレベーターを車いす対応とする。   利用者の多い施設の「かご」の床面積は、2.09㎡(135cm×160cm)以上とす	A A	0	A A A	0	0	000	0	0 0	0	0	0	0 0		0	00 0	0	0	0
乗り場周辺	る。 利用者の多い施設の乗り場周辺は、180cm×180cm以上のスペースを設ける。 エレベーターの操作に必要な表記は、和文、点字、英文等で表示する。 乗り場では、「かご」の現在位置(階数)を大きく表示する。	(A) (A) (A)	0	(A) (A) (A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	000	0	0 0	0
案内·表示	「かご」の内部及び乗り場周辺に、各階の施設案内を分かりやすく表示する。 エレベーターが複数ある乗り場では、到着するエレベーターを分かりやすく表示する。 る。	A	0	A A	0	o O	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
押しボタン 全般 (操作盤)	ボタンは、こぶしや肘などで押せる大きさとする。	A	0	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
押しボタン (操作盤) 開閉ボタン ポレボタン	閉ボタンよりも開ボタンをやや大きくし、区別しやすくする。 開閉ボタンは、ピクトグラム(絵文字)と文字(ひらがな)で表示し、区別しやす	(A)	0	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
(操作盤) 押しボタン (操作盤) その他	くする。 階数ボタンを押し間違えた場合、訂正できる機能のエレベーターを設置する。	A	0	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
安全・防犯対策	「かご」と建物の床との間隔は、2cm以下とする。 扉にガラス窓を設置する。 扉のガラス窓は防火ガラスとする。 「かご」の内部に防犯カメラを設置する。 「かご」の内部の主操作盤の上にバックミラーを設置する。	(A) (A) (A) (A) (A)	0 0 0 0	(A) (A) (A) (A) (A)	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0000	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0		0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
(4) エスカレーター		※ (A) は必要	女に心して	<b></b>															
形 状	幅員は、100cm以上とする。 踏段につまずかないように、段鼻部と周囲の色を区別する。 乗り移りやすさを考慮し、踏み段の水平部分を3枚以上とする。		0	0 0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0 0			0		0 0	0 0

安全対策

8 t	海影区分	引整備基準(推奨事項)																			
	الركعا		①学校等			国 ④福祉施	5集会	⑥販売店			9温浴施		- ⑪博物	①事務所		14共同住	15工場等	⑥駐車場		⑪−2バス 停	
				関	祉施設	設	場、公会 堂(公民	舗	飲食施設	設	設	ツ施設	館、美術館、図書	寺	イレ	宅			用歩廊	宁	他
							館、貸館						館								
							施設を含む)														
		利用者の状況に応じて、分散配置を考慮した個別機能を備えた便房を適切に設け、								_											+
	<b>.</b>	機能を分散化し、誰でもが共用できるよう配慮すること。	B	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
	案 内	機能の内容(車いす対応、オストメイト対応、ベビーベッドの設置等)に応じたピクトグラム(絵文字)を設置する。	₿	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	©		0	0			0
		内部の配置が分かるように、入口に配置図(触知図)を設置する。	B	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
		使房総数が200以下の場合は、使房総数に1/50を乗じて得た数以上とし、使房総数が200を超える場合は、使房総数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上と		0	(A)	A	0	0	0	0	0	0	0	0	©		0	0			0
	位 置	する。																			
		男女別のトイレの近くに設置する。 男女別のトイレと分けて設置する場合は、個別機能を備えたトイレの案内板を設置	B	0	(A)	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
		する。	В	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
個別機能を	出入口	幅員は、100cm以上とする。 自動ドアとする。	B	0	(A)	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	© ©		0	0			0
備えたトイレ	ш/\-	車いすに乗ったままでも開閉しやすい位置にドアハンドルや鍵を設置する。	B	Ö	Ā	A	Ö	Ŏ	Ö	Ŏ	Ö	Ö	Ö	Ö	Č		Ö	Ŏ			Ö
	広さ	スペースが十分取れる場合は、220cm×220cm以上とする 便房の出入口前には、車いすが回転できる150cm×150cm以上のスペースを設け	B	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
	'Д С	<b>వ</b> .	B	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
		車いす利用者が利用しやすいよう、便器下部にスペースを設ける。 操作ボタンは、車いすからの移乗や回転等の邪魔にならない位置に設置する。	B	0	(A)	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	© ©		0	0			0
	便 器	操作がタンは、単いりからの検集や回転寺のが魔にならない回直に設置する。 操作ボタンは、利用しやすい位置に配置するとともに、使用方法を表示する。	B	0	A	A	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
		自動洗浄の場合には、介助者にセンサーが過敏に反応しないようにする。	B	00	(A)	(A)	00	00	0	00	00	00	00	00	© ©		0	00			00
	手すり	自動開閉式の便座とする。   片側の手すりは、可動式とする。	B	0	(A)	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
	スの仏乳供	大人も利用できる大型ベッドを設置する。	B	Ŏ	A	A	Ŏ	Ŏ	0	Ŏ	0	Ŏ	0	Ŏ	Ĉ		Ŏ	Ŏ			Ŏ
	その他設備	便房と介助者のスペースを分けるカーテンを設置する。 着替え用マットを設置する。	B B	0	(A)	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	C		0	0			0
*			※Aは介見	りの状況(	こ応じて検	討する。										"					
		説明				箇所のみ。 ンの設置につ	, ついては、30	m未満及	び農村公園	は必須と	しない。										
(2) 会議室	等	物民の安中には、京が明ノことで見ったノなこないは異に乳墨する	0			0		0		0	0	0	0					0			0
		部屋の案内板は、扉が開くことで見えなくならない位置に設置する。   室内の音が漏れないように壁を防音仕様とする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			0
(3) 窓 口	1	使用目的(講演会、会議等)にあった音響設備とする。	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			0
		立位用カウンターには、車いす利用者が利用できる座位用カウンターを併設する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
□ 四付+	カウンター	立位用カウンターには、手すりを設置する。 杖や傘を立てかけられるようにする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
7137	3727	近づきやすく、温かいイメージを受ける形状とする。	0	0	0	0	0	0	0	Ö	Ö	0	0	0			Ö				Ö
		カウンターを壁と異なる色とする。 座位用の記載台には、下部に高さ70cm程度、奥行き45cm程度のスペースを設け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
記入関係	記載台	て、足が入るようにする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
記入国际	記取口	プライバシー保護のため、記載台についたてを設置する。 杖や傘を立てかけられるようにする。	0	00	00	0	00	00	0	00	00	00	0	0			0				0
		隣の様子等が見えない大きさのついたてを設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
		相談内容に応じて対応できる個室を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
周記	辺環境	各階の案内図や職員の配置図等を設置する。 大きな掲示スペース等を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
		文字等が見やすいよう、カウンターの明るさを確保する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
		机などを効率よく配置することで、通路に十分なスペースを確保する。 通路や窓口に背を向けて座らないよう机を配置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
(4) ベビー	-コーナー																				
位	立 置	防犯や安全対策として、職員等の目が届く位置に設置する。 コピー機等の事務機器を近くに置かないようにする。	(A) (A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(B)					-	0
出入	 .口·通路	出入口や通路幅は、90cm以上とする。	Ä	Ö	Ö	0	Ö	Ö	Ö	Ö	Ō	Ö	Ö	Ö	B						Ö
	# 8	出入口に、幼児用の飛び出し防止用の柵を設置する。 緊急通報装置を設置する。	(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B B						0
, in the second	т нн		※ <a>A</a> it必要	更となった	時対応で	きるよう計画	可しておくこと	_													
(5) 店舗(	(食堂・売店等)	3.7.0	(B)(\$30r	n未満及で	<b></b> 人農 村 公 遠	園は必須とし	<b>」ない。</b>														
	<u>(女工 )2/11 () //</u> 畐 員	出入口の幅員は、90cm以上とする。		Ŏ		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
		店舗内の通路の幅員は、140cm以上とする。 通行の支障にならない位置に配置する。		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
陳列	品・値札	子どもや車いす利用者にも商品が選びやすい高さ(床から45~100cm程度)や形		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
		状の陳列棚とする。   高さは、床から90~100cm程度とする。		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
販売(1.3	ジ)カウンター	下部に高さ70cm程度、奥行き45cm程度のスペースを設けて、足が入るようにす		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
別といい(レン	//// <del>//</del>	る。 利用者側に財布等が乗せられる小さな台を設置する。		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
- <del>11</del>	+ =	硬貨投入口、ボタン、取り出し口は、床から45~100cm程度の高さに設置する。		0		0	0	0	0	0	0	0	00	0			0				0
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財布や取り出した券などが乗せられる小さな台を設置する。 幼児用の椅子を用意する。		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	·			0
	<u> </u>	別児用の何子を用息する。  食堂付近にトイレを設置する。		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				0
									<del></del>						i .						<u>~</u>

8	施設区分別	別整備基準(推奨事項)	①学校等(	②医療機 関	③児童福祉施設	④福祉旅 設		⑥販売店 舗	記念 「一個光、」 「一個光、」 「一個光 一個光 一個光 一個光 一個光 一個光 一個光 一個光 一個光 一個光		9温浴施   ⑩スポー 設 ツ施設	- ①博物 館、美術館、図書	⑫事務所 等	· ③公衆ト イレ	(1)共同( 宅	主団工場等	⑥駐車場	引 ①-1公 用歩廊		ズス ①-3その 他
							館、貸館 施設を含 む)					館								
(6) 浴室	・シャワー室・脱れ	室								_										
	出入口	幅員は、90cm以上とする。 利用者の多い施設の幅員は、120cm以上とする。	(A)	0	(A)	0			0		0 0		0			0			_	0
	шХц	開き戸にする場合は、ドアの開閉を補助する手すりを設置する。	A	Ŏ	A	0			Ō		0 0		0			Ö				0
共通事項	安全·防犯対策	防犯面に配慮した構造や設備にする。 脱水症状にならないように、水飲み器や自動販売機等を設置する。	A A	0	(A)	0			0		0 0		0			0				0
	その他設備	腰掛台やベンチ等の高さは、車いすの座面の高さに合わせて40~45cm程度とす	A	0	(A)	0			0		0 0		0			0				0
	ての他政備	る。  浴槽の深さは、50cm程度とする。	A	0	(A)	0			0		0 0		0			0				0
	浴槽	浮遊防止用の手すりを設置する。	A	0	A	Ö			0		0 0		0			0				0
浴室 シャワー室	70 10	浴槽へ移乗するため、身体を回転させることを考慮した素材または仕上げの移乗台 を設置する。	A	0	A	0			0		0 0		0			0				0
	水栓器具•備品	耐水仕様の車いすを用意する。	A	0	A	0			0		0 0		0			0				0
	八江市六 闸山	洗い場に椅子を設置する場合は、高さの違うものを設置する。 説明	<u>(A)</u> ※(A)は実態	<u> </u>	<u>  係</u> 計画するこ	0			0		0 0		0			0				0
(7) 客席	・観覧席・舞台・第	<b>秦屋</b>	<u>жөкж</u>	X1-70-0 C										<u> </u>				T		
共通事項	出入口	幅員は、90cm以上とする。 利用者の多い施設の幅員は、120cm以上とする。					0				0		0							0
, T'X	座席	前席の人が鑑賞の妨げとならないように座席を配置する。					Ö				Ö		0							Ö
	<del></del>	車いす対応スペースは、1台につき幅150cm以上、奥行き150cm以上とする。 車いす利用者が車いすから座席に移乗できる座席を設置する。			-		0			+	0		0							0
客席•観覧席	車いす対応	(車いす利用者が場所を選択できるように、複数箇所にスペースを設ける。					Ö				Ŏ		Ö							Ö
	/. w=	車いす対応スペースに、介助者用の座席を設置する。   楽屋や舞台は、車いすで移動できるようにする。					0				0		0							0
<u></u>	台•楽屋 ————————	楽屋や舞台は、車いすで移動できるようにする。 楽屋内は、車いす利用者の使用に配慮した、化粧台や更衣室とする。	×ONH =	\ <del>+==</del> "''	Λ+ <del>/-</del> =π	: 凯栗ナブ	Ō	CO 15 12 /	(済みが会したて		ŏ		Ö							Ö
(8) 宿泊3	<b>E</b>	1975	※○以外の	<i>ハ</i> ナコリ	一の他設と	放直する	場合は、主(	の項目が	「適合対象となる。											
		客室総数が200以下の場合は、客室総数に1/50を乗じて得た数以上とし、客室総数に1/50を乗じて得た数以上とし、客室総数に1/100を乗じて得た数以上とし、客室総数に1/100を乗じて得た数以上の									<b>A</b>									
	客 室	数が200を超える場合は、客室総数に1/100を乗じて得た数に2を加えた数以上の 障害者が円滑に利用できる客室を設置する。							0		(A)									0
		出入口の幅員は、90cm以上とする。							0		A									0
		移動空間の幅員は、120cm以上とする(障害者が円滑に利用できる客室も含む)。 ベッドの高さは、40~45cm程度とする。							0		(A)									0
べっ	<b>バまわり</b>	ベッド側面には、150cm以上の幅員を設ける。							0		A									0
トイレ・	浴室•洗面所	手すりは必要なときに取付ができるように、着脱式のものとする。 便器は腰掛便器とする。							0		(A) (A)									0
		高齢者や障害者が1人で利用することも想定し、緊急時に対応できる設備を設置す							0		A									0
安	全対策	る。  高齢者や視覚、聴覚障害者が1人で利用することも想定し、インターホンや表示灯を																		
		設置する。							0		A									0
そ(	の他設備	机は車いすのアームレストやフットレストが当たらないものを設置する。 室内の設備等は、着座状態から利用できるものとする。							0		(A)									0
(9) その{	h	説明	※Aは宿泊	自施設を伊	弁設する場合	合は、適合	対象となる。	)												
(9) (0)	<u> </u>	流し台は、車いすでも利用できる高さとする。		0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0			0				0
;	易沸室	流し台の下部に高さ70cm程度、奥行き45cm程度のスペースを設けて、足が入る ようにする。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0			0				0
		水栓器具はレバー式とする。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0			0			_	0
6-4 情報	• 家 内																			
(1) 案内														,				,		
		遠くから見る吊下型や突出型サインの高さは、サインの下端を床から240cm程度と  する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
	設置場所	近距離から見る壁付型サインの高さは、サインの上端を床から220cm程度、サイン	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
	以巨·列//	の中心位置を床から135cm程度とする。 施設全体の案内板をすべての玄関に設置する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
共通事項		各階のエレベーター前や階段の踊り場に、各階の案内板を設置する。	Ö	Ö	Ö	0	Ö	Ö	0 0		0 0	Ö	0	Ö	Ö	Ö	Ö	Ō		Ö
	色 彩	文字と下地の明度差は5以上とする。 周囲の風景に考慮した色彩とする。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
	多言語表記	案内板は、やさしい日本語や多言語で表記する。	0	Ö	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	Ö	0	0	0	Ö		0
	光環境 	案内板が見やすい明るさを確保する。 すべての案内板に点字を設置する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
	,,,, ,	なるべく大きな案内図を設置する。	Ö	Ö	Ö	0	Ö	Ö	0 0		0 0	Ö	Ō	Ö	Ö	Ö	Ö	Ō		0
m/- ! * * ·	標示・デザイン	用途によって案内図を色分けする。 音声や視覚で知らせる案内図を設置する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
図による案内		現在地が分かりやすく、トイレ、動線(階段、エレベーター等)、目的地の位置等	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
	向き	が把握できるような案内図を設置する。 見る人の立ち位置と施設の向きが合った案内図を設置する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
		案内板のデザイン(書体、色、材質等)を統一する。	0	Ö	Ō	0	0	Ō	0 0		0 0	Ō	0	Ö	0	0	Ö	Ō		Ö
文字や	標示・デザイン	文字による表記は最低限に抑える。 ピクトグラム(絵文字)や矢印と文字の配置方法を統一する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
絵による案内	<b>+</b> +	遠くから見るサインは、太めの書体とし、近くで見るものや抜き文字の場合は、や	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
	文 字	や細めの書体とする。 文字間隔を広くとる。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0	0	0	0	0	0		0
(3) 人的対	讨応													, <u> </u>						
		総合案内板等を見ながら説明できる位置に設置する。 総合案内は明るくし、目立つようにする。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0							0
444	合案内	どこに総合案内が設置されているかを音声案内や視覚障害者誘導用ブロックで知ら	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0							0
, ive		せる。 総合案内には、手話通訳者の配置やタブレット、指差しボードの設置など、聴覚に																		
		障害のある人等にも配慮する。	0	0	0	0	0	0	0 0		0 0	0	0							0

## 8 施設区分別整備基準(推奨事項)

8 1	.他这么力	可登佣基準(推奨事項)	①学校等	②医療機 関	③児童福 祉施設	設	⑤集会 場、公会 堂(公民 館、貸館 施設を含	⑥販売店 舗	⑦観光、 飲食施設	⑧宿泊施 設	⑨温浴施 設	⑩スポー ツ施設	①博物館、美術館、図書館	①事務所 等	③公衆トイレ	⑭共同住 宅	⑤工場等	⑥駐車場	①-1公共( 用歩廊	①-2バス( 停 f	①-3その 也
6-5 避							む)														
	· <del>-</del>	多言語による非常放送設備を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 避難認		非常誘導灯は、腰の高さくらいに設置するか床に埋め込むタイプとする。 光や多言語音声案内による避難誘導装置を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
非常	玄 関 福 員 扉·防火扉 案 内	避難時に備え、自動ドアには、手動式の外開き戸を併設する。 利用者の多い施設の避難通路の幅員は、180cm以上とする。 外部へ出る扉は外開き戸とする。 他のサインと区別できるよう見やすくする。 非常口の案内が見えにくくなるようなサインを周辺に設置しない。	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0		0 0 0 0
7-1 雪 対 (2) 駐車場	策 易•屋外通路		J																		
	路面	透水機能(水を通す機能)のある舗装とする。 凍結の影響を受けにくい素材または仕上げとする。 積雪や凍結により通行が困難な場所については、ロードヒーティング等の凍結防止 設備を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共通事項	屋根排水溝等	十分な堆雪スペースを確保する。 屋外通路やスローブに屋根を設置する。 雪の影響を考慮した構造の屋根を設置する。 排水能力の高い排水溝を整備する。 流雪溝を整備する。	0 0	0000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0 0	0 0	0	0 0
駐車場	斯尔·博奇 監輪場	流雪溝を整備する。 屋根を設置する。	00	OC	0	00	0	00	00	00	00	00	00	00	0	00	00	00	0	0	0
(3) 玄関・	通路 (廊下)	EKCKE7 G		)		Ŭ															
	車寄せ	雪や雨が吹き込まない大きな屋根を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
-	自動ドア 玄関マット	雪に反応して開かない自動ドアにする。 吸水性の良い玄関マットを設置する。 雪が積もっても滑りにくい玄関マットを設置する。	0	000	0	000	0 0	0	000	0	000	000	0	0 0 0	0	000	0	0	0	0	0
玄関	設 備	風除室を設置し、コートや長靴等に付着した雪が払えるようにする。 雪や雨が吹き込まない囲いを設置する。 コートや長靴等に付着した雪を払える設備(ブラシや風圧で雪を飛ばす装置等)を 設置する。	0	00 0	0000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0 0	0	0 0
		利用者数を考慮した大きさの傘立を設置する。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0